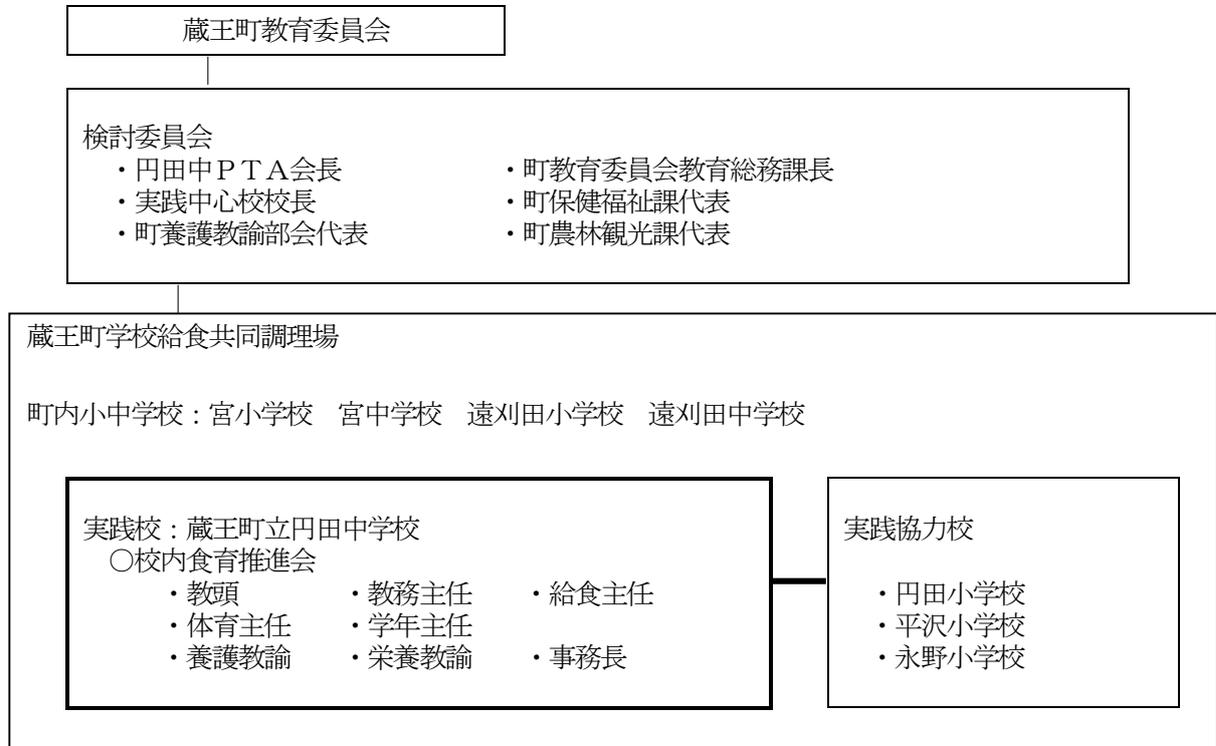


再委託先名

蔵王町

1. 事業推進の体制



2. 事業内容

テーマ1 生徒への食に関する指導

- 1 教科担当教諭や学級担任と栄養教諭が連携した食に関する授業の実施
 - ・ 1年家庭科（食の領域）…中学生に必要な栄養素や食事内容を考える等、調理実習を含めた指導
- 2 給食時間の指導
 - ・ 学級担任による指導
 - ・ 放送原稿による食育指導 → 給食委員会による昼の放送
 - ・ 栄養教諭による月1回程度の全教室巡回
- 3 スポーツと栄養に関する指導
 - (1) 専門家による食育講話
 - テーマ「スポーツ選手に学ぶ健康のための食事」
 - 講師 みやぎ食育アドバイザー 管理栄養士 川端理香氏
 - 対象 全校生徒・教職員
 - (2) 栄養教諭による女子バレーボール部への継続的な栄養指導
 - ・ 試合前, 試合後, オフ時の食事等, 月1～2回程度継続的な指導支援



1年家庭科授業の様子



食育講話の様子

- 4 文化部による栽培、体験活動の実施
 - ・学校農園での栽培活動
 - ・地域の食材「梨」を使ってのお菓子作り
 - ・枝豆栽培、収穫から宮城の郷土料理「ずんだ」作り
- 5 養護教諭による健康診断事後指導
 - ・成長期の生活習慣づくり
 - ・貧血生徒への食生活指導
 - ・全校生徒への歯科保健指導



養護教諭による健康診断事後指導

テーマ2 地域の食材を生かした学校給食献立の工夫

- 1 地場産物を取り入れた献立
 - ・通年、町内産の米を使用
 - ・梨、里芋など出荷量の多い食材とにんじん、白菜、大根など旬の食材を随時使用
 - ・町内こんにやく店の「こんにやくラーメン」を使用したこんにやくラーメンスープの提供
 - ・ブランド牛「蔵王爽清牛」を使用した牛丼の提供
- 2 宮城県の郷土料理
 - ・学校給食週間で「おくずかけ」「ずんだもち」「かにぱっと」を提供



蔵王爽清牛の牛丼

テーマ3 家庭・地域との連携

- 1 食に関するアンケートの実施
 - ・生徒の現状を把握し、食や健康に関する課題を明確にし取組に生かし、結果については保護者、地域への情報発信
- 2 町内小中学校（特に実践協力校…円田中学校区小学校）での食に関する指導の実施
- 3 食育だよりの発行
 - 生徒に配布、町内各学校に配布、地域の回覧板での回覧(学区内)
- 4 保健委員会による朝ごはんカレンダー作成と文化祭での展示
- 5 教職員研修会での食育講話の実施
 - ・町内小・中学校、幼稚園、保育所の全教職員を対象とした食育講話の実施
- 6 野球部親子料理教室の実施
 - ・「レトルトハンバーグを使ってアスリートランチを作ろう」
 - 講師 仙台大学体育学部運動栄養学科 准教授 丹野久美子 氏
 - 野球部員（1・2年生）15名と保護者18名参加 全家庭からの参加



円田小学校4年生授業の様子



野球部親子料理教室

テーマ1～3に共通する具体的計画

1 食に関するアンケート調査の実施

- ・食生活実態調査 1回目 平成24年 5月7日～18日
町内小学5.6年生 220名 中学1～3年生 341名 (円中141名)
- 2回目 平成24年12月13日～19日
町内小学5.6年生 216名 中学1～3年生 336名 (円中139名)

2 結果報告及び指導

- ・給食だより、食育だより等で啓発する。
- ・リーフレットを作成し町内小中学校を通して各保護者に配布し啓発する。
- ・実績報告集を作成し町内小中学校に配布し啓発する。

本事業における評価指標と考察

食生活に関するアンケート調査より (円田中学校分)

- ・「健康のために、栄養のバランスのとれた食事は大切だと思いますか」という設問では、
大切だと思うと回答した生徒 5月66.7%→12月77.7%
大切だと思う、どちらかといえば大切だと思うを合わせると 5月92.4%→12月99.3%
- ・「栄養のバランスのとれた食事がどのようなものかわかりますか」という設問では、
わかると回答した生徒 5月50.4%→12月56.8%
- ・「食事の時、栄養のバランスについて考えて食べていますか」では、食べていると回答した生徒がほぼ横ばいだった。食事への意識が高まり、栄養のバランスの知識は向上しても、生活の中で行動の変容までには至らなかった。生徒が行動変容するための手立てや方策を考え、実践することが重要であると感じる。
- ・「朝食を食べていますか」では、週に2・3回食べる 5月4.3%→12月5.8%
食べない 5月2.1%→12月3.6% と食べない生徒が増加した。
- ・「朝食に何を食べてきましたか」という設問では、
主食+主菜+副菜以上揃えている生徒 5月49.7%→12月50.4%
主食、主菜、副菜、汁物の4つのうち1つのみの生徒 5月29.1%→12月21.6%
朝食で1品のみの生徒が減少し、主食と主菜や主食と副菜など何らかを組み合わせるようになってきた。
- ・アンケート調査結果からもわかるように、今年度の多様な取組により、健康や食事に対する関心や意識は高まり、栄養についての知識も若干向上した。
- ・朝食については、組み合わせについて少し整い始めているが、その一方で食べない生徒が増加した。生徒はもちろん、保護者にもこのような実態を伝え、どう取り組んでもらうかが課題だと考える。

本事業の成果

1 生徒への食に関する指導

・学級担任、教科担当と栄養教諭とが連携して、教科等・給食時間の食に関する指導を進めることができた。また、部活動や委員会活動など特別活動での食に関する指導が充実してきた。

・日常の給食時間の指導が学級担任により継続的に行われ、また栄養教諭が学級を訪問することで、生徒の食事の様子を把握し、情報交換を行いながら指導することができた。

・スポーツと栄養に関する指導での食育講話は、自分の食生活を振り返る機会となったと答えた生徒 98%、自分の食生活に生かすことができそうだと答えた生徒 95%、今後部活動やスポーツをする上で具体的な食事についてもっと知りたいと答えた生徒 94%と、生徒の興味・関心のある内容で、事業の始めに専門家の話を身近に聞くことが良いきっかけとなった。教職員においても食に対する意識の持ち方、食に関する情報の共有を得る機会となり、校内での食育が進めやすくなった。

・健康診断の事後指導では、血液検査で貧血の所見があった生徒を対象に、貧血の症状や状態、改善のために必要な栄養素や食生活についての説明をすることで、医療機関での受診を促すことができた。歯科保健指導では、歯肉炎予防のためのブラッシングの仕方と歯ごたえのあるものをよくかんで食べることの大切さについて指導したことで、未処置歯保有生徒が昨年度はほとんど未受診であったのに対し、今年度は 20.3%の生徒が歯科受診をし、歯肉炎のみの生徒の受診報告も多く受けた。

2 地域の食材を生かした学校給食献立の工夫

・梨や里芋など出荷量の多い食材を継続的に使用することで、繰り返し地域の食材を知らせる機会を作ることができ、総合的な学習の時間や家庭科の調理実習との連携ができた。

・ブランド牛「蔵王爽清牛」を給食に提供していただくことができ、1年生総合的な学習の時間「蔵王を知る」で蔵王爽清牛を調べていた生徒がおり、給食に出たことでさらに興味関心が高まった。

3 家庭・地域との連携

・学校での実践の様子を学級だよりや食育だより等で家庭や地域に情報発信することができた。

・保健委員会の委員一人一人が、一月担当で朝ごはんカレンダーを作成した。家庭で調理し、写真を撮る作業を行い、カレンダーに仕上げた。文化祭で掲示することで、自ら料理や調理に関わり、家庭や地域の方々に啓発することに繋がった。

・野球部顧問と親の会との連携で、親子料理教室を行った際には、部員全家庭から1名以上の保護者が集まり、生徒は自ら調理をすることで、毎日料理してくれる保護者への感謝の思いと、食事の大切さに気付くことができた。保護者には、普段料理をさせていないことへの気付きや子どもとのコミュニケーションの機会となった。また、生徒の全家庭からの参加があったことは、地域や保護者と連携できる可能性を示してくれた。

今後の課題(今回の事業を実施した結果、新たに見えた課題)

・食事は毎日の日常生活の中で、少しずつ関心が薄れたり、意識が低くなったりするので、生徒への食に関する指導を計画的に行う場面と、継続的に行う場面とを生徒の実態に合わせて実施する必要性を感じている。

・保護者への啓発が情報発信に留まるのではなく、野球部の親子料理教室での家庭の参加率の良さからみても、企画の方法など何らかの手だてを考えることが保護者や家庭を巻き込むことに繋がるのではないかと考える。今後の学校での食育をより一層充実したものにするためにも家庭との連携や協力を得ることが必要であると考ええる。

・当事業終了後の継続した食に関する指導の方法について具体的な展開策の検討が必要であり、実践校での取組を学区内小学校や町内小中学校での食に関する指導をどのように充実させていくか、協力していくかを考えることが大切ではないかと感じている。

・町としては、実践校の取り組みを町内小・中学校だけでなく、入学前の幼稚園や保育所の子どもたちとその保護者、さらにはそれ以外の町民の皆さんに広げ、食育の大切さを健診やイベント・行事などで機会あるごとにお知らせすることが大事と考える。このことは、町全体で「はやね、はやおき、あさごはん」など、基本的な生活習慣の育成や健全な心身の基礎を培うことと考えている。